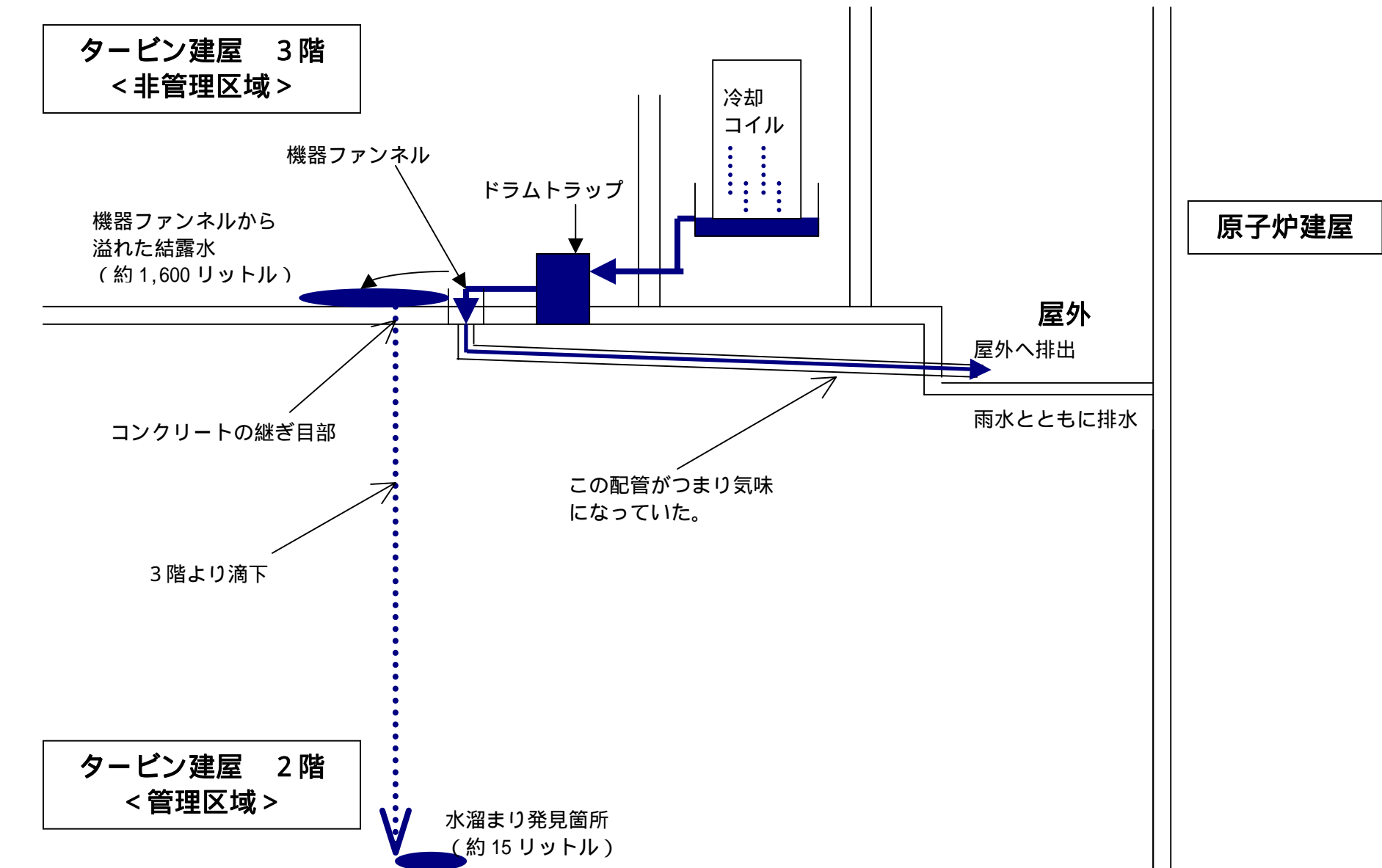


区分：Ⅲ

号機	6号機	
件名	タービン建屋内における水漏れ(結露水)について	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の6号機において、平成20年7月11日午前9時31分頃、パトロール中の当社社員がタービン建屋2階オペレーティングフロア(管理区域)の床面に、天井から滴下した水が溜まっていることを発見しました。その後、現場周辺を確認したところ、午前10時20分頃、タービン建屋3階原子炉エリア・タービンエリア送風機室*¹(非管理区域)において、床面に設置した機器ファンネル*²から水が溢れていることを発見しました。</p> <p>床面に溢れていた水の量は、タービン建屋2階(管理区域)が約15リットル、3階(非管理区域)が約1,600リットルで、いずれも放射能は含まれておりませんでした。</p> <p>(原因) 調査の結果、タービン建屋3階の原子炉エリア・タービンエリア給気処理装置冷却コイル*³からの水(結露水)が、送風機室内の排水用機器ファンネルより溢れ出したことがわかりました。</p> <p>機器ファンネルより水が溢れ出した原因は、屋外への排水管がごみ等により排水機能が低下したためと推定しております。</p> <p>なお、タービン建屋3階に溢れた水は、床面コンクリートの継ぎ目部(非管理区域)よりしみ込んで階下に滴下(約15リットル)しましたが、構造上の問題ではありません。</p> <p>(安全性、外部への影響) 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 1 原子炉エリア・タービンエリア送風機室 原子炉建屋、タービン建屋全域を換気する送風機が設置されている部屋。原子炉エリア・タービンエリア送風機の送風量は約60万m³/hであるため、多量の結露水が発生する。</p> <p>* 2 機器ファンネル 機器から排出される水を集めるために設置された容器。当該容器で受けた水は、排水配管に導かれ排水される。</p> <p>* 3 原子炉エリア・タービンエリア給気処理装置冷却コイル 原子炉エリア・タービンエリア送風機より原子炉建屋、タービン建屋全域へ供給される空気を冷却し適温にするための装置で、コイル内に冷水を通してている。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>3階(非管理区域)で溢れた水は、仮設ポンプにより排水を行い、床面の拭き取りを実施しました。3階の水を排水したことにより、2階(管理区域)への滴下も停止し、溜まった水についても拭き取りを実施しました。</p> <p>また、排水配管の清掃を実施し、通水することを確認しました。</p>	



6号機タービン建屋 水漏れ(結露水)の状況図